

前号（第466号）に続き、卒業式の「学校長式辞」（全文）の後編をお届けします。

◆卒業式での「学校長式辞」—後編—◆ 「近代絵画の父 ポール・セザンヌ」

- そのことを知って以来、私は、美術展覧会でセザンヌの絵画を鑑賞する度に、当時の他の画家との違いを感じるようになりました。遠近法を無視してバランスをとった絵や、塗り残しによりキャンバスの白い地が見えている絵もあります。なぜ、革新的な絵画を生み出すことができたのか。彼は、自分の信念を曲げることなく、美を探究し続けた頑固な画家だったようです。そのため、当時の常識にとらわれない革新的な絵画を残し、多くの画家が、彼をリスペクトしたのだと思います。
- さて、本校を卒業する皆さんに、3つのキーワードを贈ります。
- 1つ目のキーワードは、「探究」です。皆さんは、この並木中等の学舎で、6年間を過ごしました。その間、多くの「探究活動」の場面があったと思います。セザンヌは1906年67歳で亡くなる直前まで絵筆を持ち続け、描きかけの絵に手を加えるなど、探究をやめませんでした。皆さんには、この並木中等で得た「探究する心」を大切に、新しいことにどんどんチャレンジし続けて欲しいと思います。
- 2つ目は「アート」です。私は、大きく変化している今日において大切なのは「アート」だと考え、2018年からAALを提唱し、全国に発信しています。AALとは「アート・アクティブ・ラーニング」でした。アートで磨かれた感性、つまりセンスがものを言う時代が来ました。皆さんには、絵画などのアートを鑑賞することによって、豊かな感性、豊かなセンスを身につけて欲しいと思います。
- 最後の3つ目は、「アクティブラーナー」です。私は、2015年から「アクティブ・ラーニング」について研究をはじめ、AL指数・R80・TO学習などを考案し、最近全国各地で講演会の講師をつとめています。「アクティブ・ラーニング」の目的は、ただ一つ、「アクティブラーナー（能動的学習者）」を育てることです。研究の過程で、私自身も「アクティブラーナー」に覚醒しました。セザンヌも美を徹底的に探究する「アクティブラーナー」だったと思います。皆さんが「真のアクティブラーナー」として活躍するのはこれからです。大いに期待しています。
- 皆さんは、この並木中等の空間で素晴らしい経験をしたと思います。本当に6年間、よく頑張りました。私から皆さんへのはなむけのキーワードは「探究」「アート」「アクティブラーナー」です。これからの人生を、どうぞ幸せに歩いていってください。
- 最後になりましたが、ご来賓及び保護者の皆様のご健勝とご多幸、並びに卒業生の皆さんのご活躍を心からお祈りして、式辞といたします。

令和2年3月1日

茨城県立並木中等教育学校 校長 中島博司

